

前立腺がんの治療期間が短くなります！

～陽子線治療では日本初の取り組み～

前立腺がんの治療開始から1年半、前立腺の目印となる金マーカーを留置し、250例以上の経験を積み重ねてきました。

この度、海外の陽子線治療の実績を参考にし、さらに良い治療を目指して、少分割照射を開始し、治療期間を約1か月にします。(陽子線治療では日本初)

名古屋陽子線治療センターの前立腺がん治療

37回 or 39回の照射
治療期間: 約2ヶ月



20回 or 21回の照射
治療期間: 約1ヶ月

現在の治療は約40回の照射を行っており、2か月の通院期間を要します。

しかし、がんへの線量集中性を高め、かつ周辺臓器への線量を低減できる陽子線の特長を活かして1回の線量を上げた治療が可能となりました。

仕事や介護で忙しい方・遠方の方にとって、より通いやすい治療です。

	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	7週目	8週目
39回の治療期間								
21回の治療期間								

短縮化

■少分割照射

陽子線治療は体の外から放射線を照射する治療の一種です。正常臓器への影響を抑えるため、複数回に分けて照射を行っています。少分割照射とは現在の標準的な照射よりも1回の線量を増やし、回数を減らす方法をいいます。寡分割照射ともいいます。

■適応症例

基本的には今までと同じですが、下記の場合は従来の回数(37or39回)での治療となります。

- ①抗凝固剤、抗血小板剤を2剤以上服薬中の方
- ②炎症性の腸疾患のある方
- ③TUR-P(経尿道的前立腺切除術)後の方
- ④金マーカー留置が不可能又は拒否された方

効果・副作用は同等なまま治療回数を減らし、
通院期間が短くなることで、
さらなるQOL(生活の質)に優れた
がん治療が可能に！